

【会議録（要約筆記）】

■案件名：信越病院

■会議名：第1回 信濃町立病院再整備基本計画策定委員会

■日時：2020年6月19日(金) 15:30～17:25

■場所：信越病院 第1会議室

■参加者

委員：[医療及び福祉等に識見を有する者]

小松仁

[公共的団体等の代表者又は構成員]

池田昭二郎、北村勇、高力一浩、原山公平、

[公募委員]

出浦洋子、大下彩子

[学識経験者]

松村修

(※五十音順：敬称略)

事務局：横川正知（町長）、森茂樹（信越病院長）、外谷場佳子（信越病院事務長）、北村勝博（同事務局総務係長）、佐藤和治（同事務局総務係主幹）

シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社：山崎康一郎、高田三四郎

1. 開会

2. 挨拶

【町長挨拶】

- ・病院再整備の検討を開始してから7年目になる。平成27年3月に病院のあり方検討委員会から町立病院のあり方について諮問項目に対して答申された。平成29年7月に信越病院施設整備プロジェクト会議を立上げ、より具体的な施設整備内容を検討した。様々な方面の方々から意見や支援を受けて、病院再整備における1つの方向性が見えてきた。今年度6月議会にて病院再整備の方向性を報告し、理解していただいた。この委員会においても現計画を説明し、委員の皆様からご意見・ご指導をいただきながら、病院再整備の検討をしていきたい。

【病院長挨拶】

- ・5年前に赴任した時から病院再整備については、懸案だったがようやく計画が形になってきた。限られた財政の中で、必要な部分と必要度の低い部分を見極めた上でより良いものにしていきたい。直近の新型コロナウイルスの発生により、病院設備の古さから、対応が出来ない事態に直面した。そういった状況を踏まえて町民の安心を担保する施設づくりが出来るように皆様のお力をお借りしたい。

3. 委嘱書交付

委員に委嘱書の交付を行った。

4. 自己紹介

各委員より自己紹介を行った。

5. 会議事項

(1) 委員長及び副委員長の選出について

【委員長の選出】

病院事務局より要項を説明し、委員承諾のもと委員長の選出を行った。

- ・委員長を松村様とする。

【副委員長の指名】

要項に従い、松村委員長より副委員長の指名を行った。

- ・副委員長を原山様とする。

(2) 病院再整備の概要説明及び意見聴取について

【事業概要の説明】

病院事務局より事業概要資料を用いて説明を行った。

【意見聴取】

事業概要の説明を受け、松村委員長より各委員に意見・質問を聴取した。以下に内容をまとめる。

- ・病院建設をスムーズにするために、介護事業について関係機関全体で支援をすることが大事になる。地域包括ケアシステムの中で、要介護者への対応が可能なのか懸念される。
 - ▶介護療養病床の制度が廃止される中で、どのように地域包括ケアシステムを構築していくのか課題である。
- ・自分も含めた子育て世代にとって今の信濃町に生まれた子供たちに借金を残したくない。今の子供たちへの負担がどれほどになるのか教えてほしい。
 - ▶町の借金については、約50億円になる。国が返済するお金の半分以上を負担するため、借金が約23億円になる。さらに信濃町は、国から過疎地域として認定された。過疎地域として認定されると国が借金に対し7割を負担することとなっている。したがって、現時点で想定している最終的な町の借金は、約7億円になる。町民に対して均等に割れば、後世への負担は、大きくない計画となる。また、病院再整備については、以前から基金を積み立てており、約6億円ある。町の財政面に課題があるため負担が大きくなるように対応していききたい。
 - ▶そういったことが町民に見えてこないことが一番の問題であると感じた。負担は、大きくないとしたが、どう大きくないのか教えてほしい。また、知識のない人にも理解できるよう分かりやすく説明してほしい。
 - ▶簡単に説明できるようにしていく。

- ・将来、自分が死ぬことを考えた時、自分の家で最期を迎えたい。しかしながら家族に迷惑をかけたくない気持ちもある。新病院には、終末期の人たちを支える病院が良い。そうすることで信濃町に住む人々に安心を与えることができると考える。
- ・地域包括ケアシステムの中で、どのように要介護者を支えていくのかについて意見はないか。
 - ▶病院も地域包括ケアシステムの一旦に関わっている。町内には、要介護者を支援する施設がある。町の第8期介護保険事業計画で具体的な取り組みについては、分からないが新たな介護事業開設に向け事業所に声かけをしていると聞いている。病院としては、訪問看護や訪問リハビリテーションを継続実施していく。
- ・現状の病院実績（病床稼働率）を踏まえると病床数については、妥当な数字だと考える。
- ・現状の病床は、狭いため新築になれば病床が大きくなり、若く働き盛りの世代が信越病院で入院したいと思うのではないか。また、新築になることで若い看護師が来てくれる可能性も見込める。環境面においては、駐車場も狭く道路を渡らなければならない状況であり、移転をすることで改善が見込まれる。さらに移転場所には、指定避難場所である体育館があることから災害時の機能が集約できる。以上のことから移転新築の計画と移転場所についても適切だと考える。
- ・地域包括ケアシステムの構築は、最重要事項だと考える。介護療養病床が制度上廃止となる前にどう対応していくのか検討する必要がある。現在、週に1回の頻度で関係者が集まり看取りも含めて地域包括ケアシステムの構築について話し合いをしている。病院には、引き続き訪問看護・訪問リハビリテーションを実施してほしい。
- ・看護師の多くは、女性である。夫の仕事の関係で町から離れることも少なくない。まちづくりについても検討するきっかけにしてほしい。
 - ▶町の半分の人が都会に住みたくないという意見がある。地方に住める環境を整備することで若い世代が住みたくなくなるのではないか。
 - ▶女性の働き方や立場を踏まえた住みやすい町になるよう検討する必要がある。
- ・移転場所については、旧柏原小学校跡地とすることに反対する意見がある。
 - ▶旧柏原小学校跡地に建設を要望する意見もある。
 - ▶関係者には、事前に病院再整備の方向性を説明している。
- ・若い世代が病院に来なければ、将来利用する人がいなくなってしまう。診療科は、このままで良いのか。産婦人科や皮膚科などを整備してはどうか。若い世代に対するアピールが足りない印象を受ける。
 - ▶以前にも議論があった。小児科や産婦人科は、経営的な観点から赤字になるが小児科は、残す計画となっている。以前に実施したアンケートには、若い世代から耳鼻咽喉科の整備を要望していたが、耳鼻咽喉科についても経営的に厳しい。可能性がないとは言い切れないことや要望する声もあるため、検討の余地は、あるのではないかと考える。

- ▶若い世代は、専門的な病院に行きたい人が多く、町外の病院を利用している。自分自身、産婦人科で診てくれる医師がいなく町に住んでいて不安である。女性を中心に診てくれる医師がほしい。
- ・介護医療院については、もう少し検討してほしい。人口が減少する中で介護従事者が対応していけるのか疑問である。施設で診るのか、家で診るのかどうか。家で診る場合、高齢者が増えれば増えるほど一般家庭への負担が大きくなっていく。
 - ▶介護医療院については、検討の初期段階で整備する方向としていた。しかしながら町の医療・介護の提供状況や経営的な観点から町の中で他に代替することのできない医療の提供を優先し、医療療養病床を残すこととしている。
 - ▶介護医療院の検討については、大半の会議で話が挙がっていた。介護医療院は、介護療養病床の患者をカバーできるが、一方で医療療養病床の患者がカバーできない施設である。医療の提供をしながら介護の提供についても検討することは、経営的にも難しい。したがって、信越病院は、しっかりと医療の提供をしていくとした。今まで病院再整備の方向性を示していなかった。今後、方向性を周知することで介護関係の動き方が変わってくる。町としても介護療養病床 25 床の受入先について検討していかなければならないと考える。
- ・病院で看取りの対応ができれば、安心できる。要望として挙げたい。
 - ▶検討する。
- ・医療を提供する側、提供を受ける側、それぞれの事情がある。医療だけでも多くの要素が関わる。医療機関は、医師が 1 人でやっている訳ではなく、その他多くの職員で運営をしている。その多くの職員に給料を支払はなければならない。県内では、長野市・松本市の人口規模がなければ病院の経営は、成り立たないと考える。今の状況でよく病院として継続されているなという印象を受けた。長野市や周辺地域との連携の中でどうしていくのか検討が必要である。
- ・現状、古い建物であるため、感染症対策に限界がある。新型コロナウイルスで不安になっている人もいるが、インフルエンザでも同様のことが言える。病院再整備では、感染症対策ができるように計画をしてほしい。建築コストとの兼ね合いもあるためどこまで対策をするのかについては、検討が必要である。
- ・課題として挙がっている通り、介護療養病床の受入先について検討が必要である。介護医療院では、経営がうまくいかないという説明になっているため、理解されにくいと考える。介護療養病床の受入先について詳しく示した方が理解されやすい。

【事業概要に対する質問・意見記入用紙について】

病院事務局より資料の説明を行った。

- ・7月3日金曜日を提出期限とする。次回委員会に提出された質問・意見に返答する資料を作成する。

6. その他

- ・次回は、委員会前に資料の配布をしてほしい。
- ・第2回委員会開催予定は、7月17日金曜日午後3時30分とする。

7. 閉会

以上